



令和3年11月15日

豊川市政記者クラブ加盟社 各位

取り扱い注意	
解禁日	テレビ・ラジオ・インターネット 11月19日（金）午後5時
	新聞 11月20日（土）朝刊

中村家住宅主屋の登録有形文化財（建造物）の 登録について

国の文化審議会（会長 佐藤 信）は、登録有形文化財（建造物）の登録について、11月19日（金）に文部科学大臣に答申しました。そのうち、本市では下記の物件が該当しますので、お知らせします。

なお、今回1件が加わることで、豊川市内の登録有形文化財は17件となります。

記

1 概要

名称・所在地	員数	構造、形式及び大きさ	建築年代等	所有者	登録基準
中村家住宅主屋 豊川市篠東町	1棟	木造2階建一部 地下付、瓦葺 建築面積241㎡	1843（天保14）年／ 1928（昭和3）年頃増築	個人	国土の歴史的景観に 寄与しているもの

2 特徴・評価

伊那街道に面する農家主屋で、つし2階建、切妻造、棧瓦葺で四周に下屋を廻す。東は土間で竈と近代に桑の地下貯蔵場を設け、玄関土間から西に三列9室を並べ南西を床付座敷としている。

当初から瓦葺とみられ、小壁の成が高いなど江戸期の建物でありながら新しい建築様式も感じられる。江戸時代の街道の歴史的景観を形成する貴重な建物といえる。

3 備考

小屋裏棟東の墨書から、1843（天保14）年に中村庄三郎が23歳で分家したことを契機としてこの家を見て、大工は1855（安政5）年に篠東神明宮御本殿を手掛けた地元伊奈村の井澤庄十が務めたことがわかった。

中村家は明治以降に養蚕を始め、地下の貯蔵場は大正頃に設けられたとみられる。また、西列の3室の座敷は1928（昭和3）年頃に増築したものである。

※建物の常時公開は行っておりません。



外観 南面



内観 南西床付座敷



内観 玄関土間から西側を望む



内観 玄関土間地下貯蔵室



内観 北東土間上の吹抜梁組



棟東に書かれている墨書

【お問合せ先】

豊川市教育委員会 生涯学習課 文化財係 細井・前川
TEL:0533-88-8035 Eメール:gakushu@city.toyokawa.lg.jp